

2026年6月の生産・出荷実績に関する石油化学工業協会コメント

令和8年7月16日

2月末のホルムズ海峡の実質封鎖以来、当協会の各会員企業においては、国内石油精製からのナフサ調達の継続、中東以外からのナフサ調達の拡大及び製品在庫の活用により、石油化学製品の供給継続に全力を尽くしている。

6月の生産・出荷実績は、ナフサクラッカー等における定修の集中もあり、エチレン生産量は前年比、前年同月比で減少であった。主要石油化学製品であるポリエチレンやポリプロピレン等において、一部で製造プラントにおける定期修理の影響など製品毎の差はあるものの、国内市場向けに必要な生産を維持している。

主要4樹脂の国内出荷においては、先月の大型連休による出荷日数の減少による影響分を取り戻して対前月でプラスとなっている。

在庫の状況についても、ポリエチレンやポリプロピレンにおいては国内需要の3カ月前後の水準を6月末においても維持しており、直ちに供給困難となる状況ではないと認識している。

政府からもナフサ由来の化学製品の供給は年度を超えて継続できる見込みとされているとおり、石油化学製品の供給は、7月以降も平年並みの供給が見込まれており、引き続き需要を満たすべく安定供給を維持していく。

当協会としては、引き続き、国及び会員企業と密接に連携しつつ関連情報収集や必要な措置の徹底など安定供給に必要な対応を行っていくこととしている。

最後に、当協会としては、事態が一刻も早く収束し、ペルシャ湾地域における船舶の安全航行が回復することを強く求めるものである。

【本件に関するお問合せ】

石油化学工業協会

志村、武井 TEL 03-3297-2019

2026年6月実績概要（メモ）

（2026. 7. 16）

定修の集中が再来し、エチレン以下各誘導品では減産となるも、国内向けを中心に出荷は前月を超える品目が多数におよぶ。

1. 生産動向

イ) エチレン 289, 100トン

前月比 ▲11. 1% (▲ 36, 100トン)

前年同月比 ▲19. 1% (▲ 68, 100トン)

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	▲ 3. 2 %	—
定修要因等	▲ 5. 0 %	▲ 5. 8 %
能力増減	—	—
稼働率変動	▲ 2. 9 %	▲ 13. 3 %
生産増減率	▲11. 1 %	▲ 19. 1 %

稼働プラントの実質稼働率試算：前月 68. 1% → 当月 66. 5% ← 前年同月 74. 8%

定修プラント：前月 2社2プラント → 当月 3社3プラント ← 前年同月 2社2プラント

ロ) 主な石油化学製品

前月比は、日数減とともに定修規模差から、LDPE、HDPE、PP、MMAモノマー、EO、EG、BRなどの13品目がマイナス。PS、アセトアルデヒド、トルエンなどの4品目はプラスとなった。

前年比は、定修規模差や稼働率要因から、LDPE、HDPE、PS、AN、SBR、トルエンなどの9品目がプラス。SM、塩ビ樹脂、EG、BR、ベンゼンなどの8品目はマイナスとなった。

2. 樹脂の生産・出荷状況（LDPE、HDPE、PP、PS）

イ) 生産

前月比は、日数減とともに、LDPE、HDPE、PPは稼働率要因や定修規模が拡大しマイナスとなった。PSは主に稼働率要因からプラスとなった。

前年比は、オレフィンの供給減少が続いているものの定修規模差の縮小からLDPE、HDPE、PSはプラス。PPは定修規模の拡大からマイナスとなった。

ロ) 国内出荷

消費マインドは、暮らし向きなどの面で前月に比べて緩慢ながらも改善が続いているが、先行きの物価上昇の見通しから、弱含みに推移している。他方、国内の生産活動は、6月の予測では生産用機械、電気・情報通信等で上昇が見込まれており、トレンドとしても強気の見方が多くなっている。

汎用樹脂の出荷は、前月比は、ユーザー側の稼働も戻り、LDPE、HDPE、PP、PSの4樹脂揃ってプラスとなった。前年比は、前年の出荷がやや低調であったこともあり、LDPE、PP、PSはプラス。HDPEのみはマイナスとなった。

分野別の出荷状況は、包材分野の出荷は、前年比でLDPE、PP、PSがプラス、HDPEのみはマイナスとなった。

包材以外の出荷分野では、前年比で増加する分野がここにきて多くなり、LDPEの加工紙分野、電線被覆分野、PPでは射出成形分野や繊維分野、押出成形分野、PSは電機・工業用、雑貨・産業分野、FS分野のいずれでもプラスとなった。HDPEは中空成形分野のみの出荷増加に留まった。

ハ) 輸出

中東地域のリスクの低下に伴い、一時的なプレミアム市況が消失ししつつあり、一部では整理売りの状況が見られている。

LDPE、HDPEは、前月比、前年比ともにマイナス、PP、PSは前月比、前年比ともにプラスとなった。

ニ) 在庫

在庫量は、前月に対して、LDPE、HDPE、PPで減少し、PSは増加した。在庫率(季節調整済)は、LDPE、PSは横這い、HDPEは上昇、PPは低下した。

在庫水準としては、HDPEは高め、LDPEはやや高め、PSは適正、PPは概ね適正水準となった。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		5月末	6月末
LDPE	▲13, 900	3. 2	3. 2
HDPE	▲18, 600	3. 4	3. 5
P P	▲55, 200	3. 0	2. 7
P S	+ 1, 400	1. 7	1. 7